

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 15日

事業所名 しあわせ駅 山内

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			スペースは十分あるが死角も多い為、職員が気をつけて安全を見守る。	
	2	職員の配置数は適切である	3	4			急な休みが出た場合は不足してしまう為、それに対応する人数を確保する必要がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	2		バリアフリー対応の児童が現在いない為バリアフリーに対応していないが、皆が安全に過ごせる環境を整える。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3			スタッフミーティングは随時行っているが今後も引き続き児童の課題、支援方法を振り返り強化していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				保護者様の意見を積極的に取り入れ、業務改善ができるようにしていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3		会社全体のホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4			今後、連携対応を図って行きたい。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		職員のスキルアップの為できるだけセミナー等に参加するようにしている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			保護者様や本人の思いを受け入れ、無理のないようにスモールステップで成長につながるような支援を心掛けている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		規程のアセスメントシートを利用し、個別の情報を漏れなく記入出来るよう気をつけている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		ミーティングで全職員の意見を取り入れながら立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1		全職員の意見を取り入れ、支援内容がマンネリ化しないように気をつけている。	今後も様々なプログラムを取り入れ、常に質の向上に努めていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2		支援時間や季節ごとに活動ができる内容や活動範囲を考えている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			全職員が児童一人一人の状況・特性を把握できるように心がけている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2			職員の業務分担は行っていて、さらに明確にして各自役割分担を行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2			支援終了後にあまり時間が取れない為振り返りの時間を確保出来るよう改善していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				記録を取っているが、保護者様や児童のニーズを積極的に取り入れるよう工夫していく。
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				定期的モニタリングは行い、児童の成長につなげて行けるよう支援していく。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	2			支援の幅を組み合わせるようにしているが、さらなる改善を行っていく。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7				時間が無い中で出来るだけ研修の機会を多くとり支援向上のため努力していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	2			学校と連携をとり下校時間を細かく把握してスムーズに支援出来るよう改善していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	5	1		現時点では、医療的ケアが必要な児童はいない。必要に応じて整えていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2			今後、学校と連携を図りさらに対応を密にしていきたい。必要に応じて整えていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	3	1		現時点では、障害福祉サービス事業所等へ移行する児童はいないが、今後に向けて備えていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4	2		センターや専門機関で行われる研修などを業務に影響しない範囲内で参加するようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4	3		児童に配慮しつつ、出来るだけ地域の子供たちと交流を深めイベントを考えるよう努力していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5	2		協議会へ積極的に参加できるよう頻度を増やしていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7				送迎時に、児童の様子を保護者様へお伝えするようにしているが、タイミングが合わない場面もあるため、連絡帳でもお伝えするようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	3		保護者様が求める支援や必要と感じる内容を取り入れられるよう、職員で密に連携をとり保護者支への援をさらに強化していきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1		契約時に説明をしているが、追加の説明を求められたら随時対応している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			保護者様とのコミュニケーションを常に大切にしながら必要な時に相談ができるように努める。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	3		コロナ禍で密をさけるため機会を設けられていないが、終息したら機会を設けていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				苦情が上がった場合は、管理者が迅速に対応しその後ミーティングを行い再発防止に努めていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	2	お便り帳でのお知らせや手紙等で月のイベントを伝えている。	
	35	個人情報に十分注意している	7			個人情報には十分注意し気をつけている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				どのスタッフも共通理解が持てるよう、役割分担を行い支援していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	4		コロナ禍で密をさけるため機会を設けられていないが、終息後、機会を設けていきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2			説明を徹底していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1			火災訓練は定期的に行っているが、その他事前災害時の訓練も取り入れていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2		虐待防止研修などに参加している。	引き続き職員への周知徹底を行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	2			身体拘束が必要な児童は現時点では当事業所にはいないため、必要であれば支援計画者に記載する必要があると理解している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	3			食物アレルギーのある子供は現時点ではいないが、今後利用がある場合は医師の指示所等に基づく対応も行っていきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2			その日事に対応しているが、事業所内で共有し周知徹底していく。